



日本赤十字社

京都第一赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

絆

泉山長
俊朝

京都第一赤だより

き

ず

な

人道と奉仕の赤十字精神に基づき、
患者さまにとって安心できる
適切な医療を行います。

新春号

2017年1月発行

vol.

63

Contents

看護フォーラム開催報告	2,3
リハスタッフの病棟配置を開始しました	4,5
就任のご挨拶	6
お知らせ	7

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、平穩のうちに新年をお迎えになられた事と拝察し、お慶びを申し上げます。

昨年、アメリカの大統領選で勝利したトランプ氏がいよいよ就任式を迎えます。選挙中の発言が若干は修正されていますが、政権内部には大統領以上の保守強硬派が名を連らね、我が国への影響が心配される所です。

今年は診療報酬改定の年には当たりませんが政府、与党の基本方針は2017年度予算編成に明確に現れております。2020年度までにプライマリーバランスを黒字化するとの財政健全化目標を金科玉条に、高齢化社会では必然的な社会保障費の自然増の抑制策を予算編成方針の目玉に据え、医療1000億、介護400億

円の圧縮という報道が本稿をしたためている頃にありました。来年は医療、介護の同時改定に当たり、地域医療構想を含め、更に多難な時代に進んでゆく気がいたします。

当初は病院単位での病床区分を想定していた病床機能報告制度に基づく、医療提供体制が病棟単位のような様相を呈しておりますが、本院は3期連続してDPCIⅡ群である実績を踏まえ、地域の中での役割を再認識し、高度急性期医療を担っていく覚悟です。

今後とも職員一丸となり、高度な医療を安全に配慮しながら頑張りますので、新年を迎え、皆様方のご多幸を祈念すると共に、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

京都第一赤十字病院
院長

依田 建吾

◆看護フォーラム開催報告

地域でつなごう看護の力

～病院、地域それぞれの立場から～

看護部 副部長 | 緑 浩衣

10月29日(土)、多目的ホールにおいて看護フォーラムを開催することができました。今回も院内、院外合わせて116名の方に参加していただき、午後の短い時間ではありましたが、大変有意義な時間を過ごすことができました。大変感謝申し上げます。

テーマは「地域でつなごう看護の力～病院、地域それぞれの立場から～」ということで第一部は、「NICUを退院する児の地域連携について」上京保健センター健康づくり推進課母子精神保健係長 岩井圭世様より保健師のお立場からご発表いただき、また当院からは新生児集中ケア認定看護師 岸本幸子より報告をさせていただきました。NICUにおける退院支援の特徴や地域連携の強化について、地域の現状など多くの

学びが得られました。また成人や高齢者の退院支援においても同様に患者や家族を取り巻く支援者としての共通認識、情報共有が重要であることを学びました。

また、「がん性疼痛をもつ患者の地域連携について」では今年度より取り組んでおります同行訪問の事例について、吉祥院訪問看護ステーション副所長である岸本美穂様、当院のがん性疼痛認定看護師 中満順子から連携の経過を報告させていただきました。医療ニーズの高い患者が、安心して自宅へ戻っていただけるよう、今後も多くの訪問看護ステーション様と連携させていただきたいと思っています。そのためには専門性の高い看護師のみでなく病棟看護師の退院前訪問や退院後訪問などの体制も整えて参りたいと考えています。



第二部では生活習慣病に関連する分野の認定看護師の活動として「病院・地域でその人らしい生活を支えるために」何ができるかを慢性心不全看護認定看護師、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師、認知症看護認定看護師という3分野の認定看護師の院内連携について発表を行いました。地域連携の中で何ができるかについてご意見をいただきました。まだまだ認知度の低い分野ではありますが今後の活動について多くの学びを得ることができました。生活習慣病は重症化など在宅療養の障害となる事例も多いため、今後も

地域の中で役割が果たして行けるよう研鑽していくことを期待したいと思っています。

懇親会では、短い時間ではありましたが、軽食を取りながら和やかな雰囲気の中、これからの連携について意見交換をすることができました。このような機会を通して顔の見える関係づくりに少しでも近づくことができたように感じ、大変うれしく思っております。急性期病院である当院にできること、やるべきことの課題はまだ山積しております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



平成28年度 京都第一赤十字病院看護フォーラム プログラム

第1部 [13:10～] 実践報告・意見交換

①「NICUを退院する児の地域連携について」

【発表者】 新生児集中ケア認定看護師 岸本 幸子
上京保健センター健康づくり推進課 母子精神保健係長 岩井 圭世様

②「がん性疼痛をもつ患者の地域連携について」

【発表者】 がん性疼痛看護認定看護師 中満 順子
吉祥院訪問看護ステーション副所長 岸本 美穂様

第2部 [14:20～] 公開事例検討

「病院・地域でその人らしい生活を支えるために」

【発表者】 慢性心不全看護認定看護師 中上 藍
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 藤野 早苗様
認知症看護認定看護師 高瀬 あゆみ様

◆リハビリテーションスタッフの病棟配置を開始しました

リハビリテーション科部 | 佐藤 文寛、大久保 直子

当院では2016年5月より、一部の病棟にリハビリテーションスタッフ(以下、療法士)の配置を開始しました。まだ京都府下では珍しいこの取り組みについて紹介します。

2014年度の診療報酬改定により、ADL維持向上等体制加算が新設されました。これは、急性期医療において、療法士を病棟に配置し、入院中の患者の日常生活機能の維持、向上等を図ることを目的とするものです。積極的なリハビリテーションを必要とする患者に対しては、これまで通り、個別に疾患別リハビリテーション(脳血管疾患、運動器疾患、呼吸器疾患、心大血管疾患、がんなど)を行っていますが、それ以外の患者(今まではリハビリテーションが実施されなかった、あるいは廃用症候群を来たしてから実施していたような患者)に対して、病棟に配置した療法士が早期より介入します。

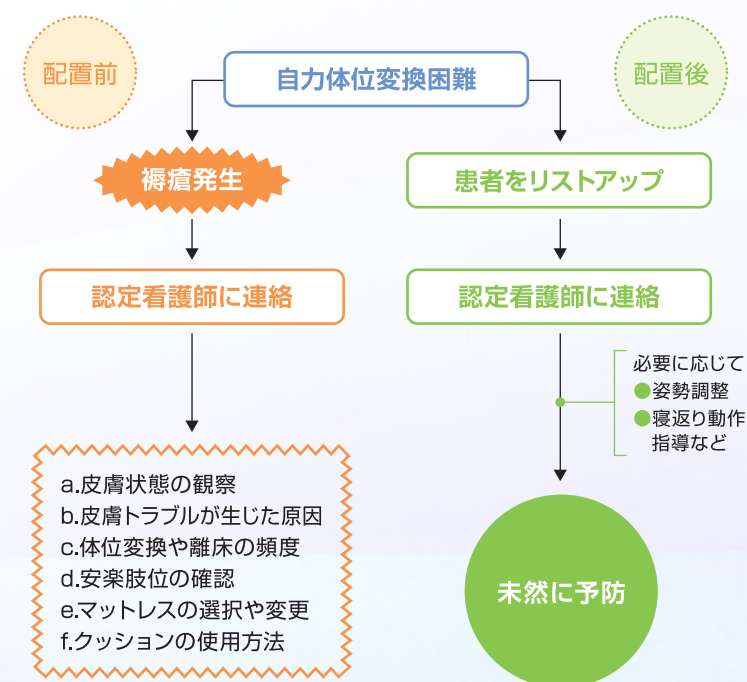
病棟配置療法士の主な業務

- 入院患者に対する定期的なADL評価**
当該病棟に入室する全ての患者に対して、入室時、退室時にパーセルインデックスを用いて評価する。
- 入院患者に対してADL維持、向上等を目的とした指導、訓練の実施**
個別の疾患別リハビリテーション適応はなくても、入院中に筋力や体力の低下が予測される患者を見極めて介入する。
- リハビリテーション科医師との回診や病棟カンファレンス**
リハビリテーション医師、担当療法士、病棟看護師、薬剤師、管理栄養士などと連携を取り、患者のADLに関する情報や指導内容を共有する。
- 担当療法士への最新情報の申し送り**
病棟で得た最新情報を担当療法士へ提供する。
- 転倒・転落の予防**
病棟内でのADLや注意点を多職種と共有する。
- 患者家族との関わり**
患者の住環境や入院前のADLに関する情報を収集する。また、入院中のADL状況を報告し、介助方法や住環境整備などに関する助言を行う。



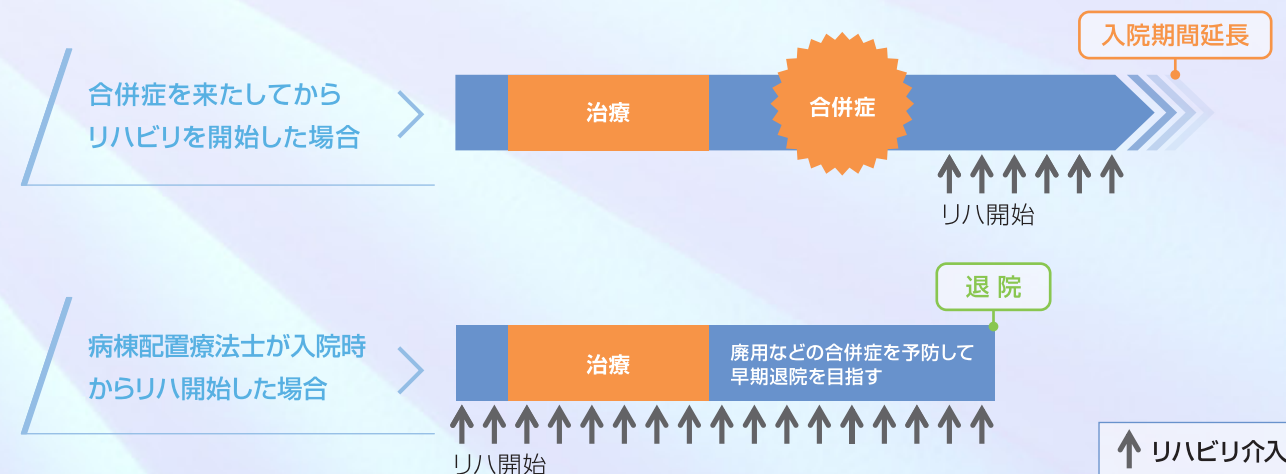
褥瘡予防に向けた取り組み

以前は各病棟の看護師が褥瘡予防を図り、褥瘡が発生した際に認定看護師が対応していました。現在、療法士が配置された病棟では、患者のADLを把握している病棟専従療法士が、自力で体位変換困難な患者をリストアップし、認定看護師と連携を取り、褥瘡を未然に予防するといった取り組みを開始しました。これにより当該病棟での褥瘡発生は0件が続いています。



最後に

「リハビリ室では歩行可能で、トイレ動作の練習もできているのに、実際病棟ではほとんど歩かず、排泄もベッド上でしている」といったような状況では、リハビリテーションの効果が発揮できないばかりか、その患者のADLを低下させる恐れもあります。療法士の病棟配置を開始して数ヶ月ですが、廃用症候群の予防、ADL維持のために、「リハビリではできるADL」を「病棟でも実際にしているADL」にしなければならない、と病棟看護師の意識が変わってきた印象を受けます。また必要に応じて、入院直後からリハビリテーションを開始することで、原疾患の治療と並行して、合併症や廃用症候群を予防することが可能となっています。今後も在院日数の短縮や患者満足度が向上することが期待されます。



◆就任のご挨拶



リハビリテーション科／部長
池田 巧

1月からリハビリテーション科部長を拝命しました池田巧と申します。平成5年に京都府立医科大学を卒業し、整形外科専門医として患者さんの治療に携わってきました。平成26年10月に高齢化に対する抜本対策である京都市地域包括ケア推進のプロジェクトとして、京都府立医科大学にリハビリテーション医学教室が設置されました。リハビリテーション科専門医・指導医の資格も有していましたので、開設時ス

タッフとして臨床、教育そして研究に従事してきました。京都第一赤十字病院の各診療科では病気に対して非常に高度な治療が行われています。その過程で残存した障害を総合的に捉え、理学療法、作業療法、言語聴覚療法などの手段を用いて治療を担当するのがリハビリテーション科です。障害を治療するだけでなく、障害されていない健康な部分を積極的に活用することで日常生活での能力を高めます。そのために、多職種の力を結集して包括的なチーム医療を実践し、患者さんの生活の質の改善に取り組んで参ります。私が得意とする分野は、運動器障害、痙縮（筋のつっぱり）、義肢装具、摂食嚥下障害です。各診療科担当の先生を介して相談をしていただければお力になれると思います。何卒よろしくお願いします。

皆さん、はじめまして。病理診断科副部長の山野です。平成5年に富山医科薬科大学を卒業後、大学院、関連病院を経て7月に京都第二赤十字病院から赴任し、10月より副部長を拝命いたしました。病理診断は、特に悪性腫瘍において確定診断となる場合が多く、治療方針、治療効果および予後判定において重要な意味を持ちます。地域がん診療拠点病院である当院では大学病院に匹敵する腫瘍例を扱っており、直接患者さんの目には触れないことの多い部門ですが、診療の質の確保という使命の重大性を改めて認識して診断に当たっています。

近年、様々な分子標的治療薬が登場し、いわゆ



病理診断科部／副部長
山野 剛

る個別化医療を行う上で、免疫組織化学法や遺伝子変異解析などの分子病理学的検索の必要性が増加しています。ご紹介いただきます先生方におかれましては、このような検索を行う上でHE標本に加えパラフィンブロックをお借りする機会が増えることと思いますが、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

お知らせ

Information

第5回 東山免疫膠原病フォーラム

【日 時】平成29年2月11日(土) 15時30分～17時30分

【会 場】ANAクラウンプラザホテル

※詳細は、別紙をご参照ください。

第15回 東福寺消化器フォーラム

【日 時】平成29年3月2日(木) 19時～21時

【会 場】ホテルグランヴィア京都

【テーマ】内科・外科の治療連携

※詳細は、別紙をご参照ください。

第2回 東福寺周産期カンファレンス

【日 時】平成29年3月9日(木) 18時30分～

【会 場】京都第一赤十字病院 管理棟5階多目的ホール

※詳細は、別紙をご参照ください。

糖尿病治療フォーラム(仮)ー動機付け面接を考えるー

【日 時】平成29年3月30日(木) 18時～19時30分

【会 場】京都第一赤十字病院 管理棟5階多目的ホール

※詳細は、別紙をご参照ください。

第17回 東山糖尿病医療連携懇話会

【日 時】平成29年5月27日(土) 16時30分～18時15分

【会 場】ANAクラウンプラザホテル

※詳細は、別紙をご参照ください。



循環器内科ホットライン開設のご案内

このたび病診・病病連携を一層強固なものとし、直接かつ気軽に循環器を専門とする医師に患者搬送の依頼や相談ができるよう、心臓センター循環器内科に24時間365日利用可能なホットラインを設置させていただくことに致しました。つきましては、救急診療を必要とする循環器系疾患の患者様にお役立ていただければ幸いです。ご連絡をお待ち申し上げております。



連携室だより

巻末コラム

40



新年あけましておめでとうございます。

京都第一赤十字病院から東大路通を七条通まで上ると、日本赤十字社京都府支部の前に京都国立博物館が見えてきます。昨年に生誕300年を迎えた伊藤若冲(いとう じゃくちゅう)の特別展がここ国立博物館で催されています。海外でも人気が高く、開かれる各展覧会は大盛況と聞いています。

若冲は、正徳6年(1716年)、京都の錦市場にある青物問屋の長男として生れました。40歳の時に早々に、弟に家業を任

せ、本格的に作画に打ち込みます。緻密な描写で描く動植物は生命力に溢れていて人々を魅了しています。若冲は作品のなかで多くの“鶏図”を残しており、今年の干支の酉(トリ)と縁を感じます。

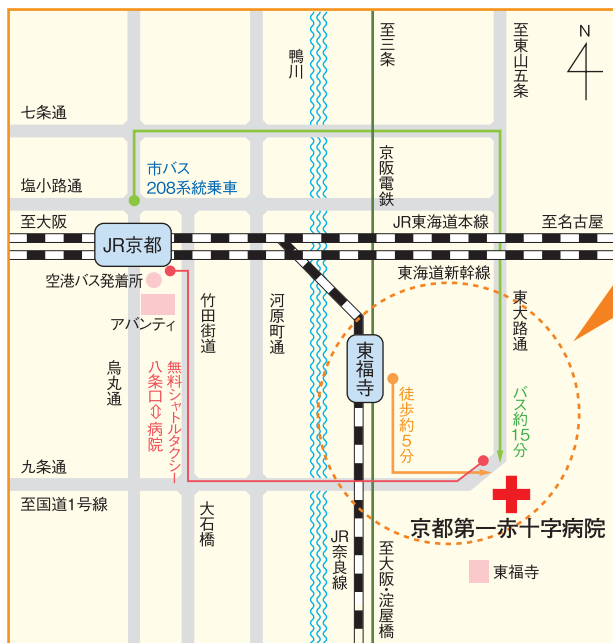
干支の申(サル)と戌(イヌ)＜犬猿の仲＞に挟まれて肩身の狭い酉(トリ)とは違い、自由奔放な若冲の生き方や豪華で生き生きとした作風が、暗い話題の多い昨今において再評価されているのかもしれない。

最後になりましたが、本年の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

地域医療連携室

Access to Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital

当院へのアクセス



電車をご利用の場合

JR奈良線、京阪電鉄…「東福寺」駅下車、徒歩5分

バスをご利用の場合

市バス202、207、208系統「東福寺」バス停で下車

車をご利用の場合

【奈良、大阪方面から】…京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪国道口を東(右折)へ、九条通りを約2.5キロ

【山科、大津方面から】…国道1号線を西進、東山五条交差点を南(左折)へ、東大路通りを約2キロ

【京都駅付近から】…竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点を東(左折)へ九条通りを約500メートル

無料シャトルタクシー運行のご案内【JR京都駅八条口⇄病院(地下鉄九条駅経由)】

	八条口発 病院行き	病院発 八条口行き
始発便	7:45 次発 8:10、以降30分間隔で運行	9:00 以降30分間隔で運行
最終便	16:10	16:00

※12:40八条口発の便は運行していません。 ※12:30病院発の便は運行していません。

※交通状況により時刻に遅れが生じる場合があります。
 ※運行は平日のみとなります。土・日・祝日等病院の休診日は運行いたしません。
 ※定員9名のため満員の場合は次の便をご利用ください。

京都第一赤十字病院

京都市東山区本町15-749 TEL.075-561-1121

地域医療連携室 【直通】TEL.075-533-1280
 FAX.075-533-1282